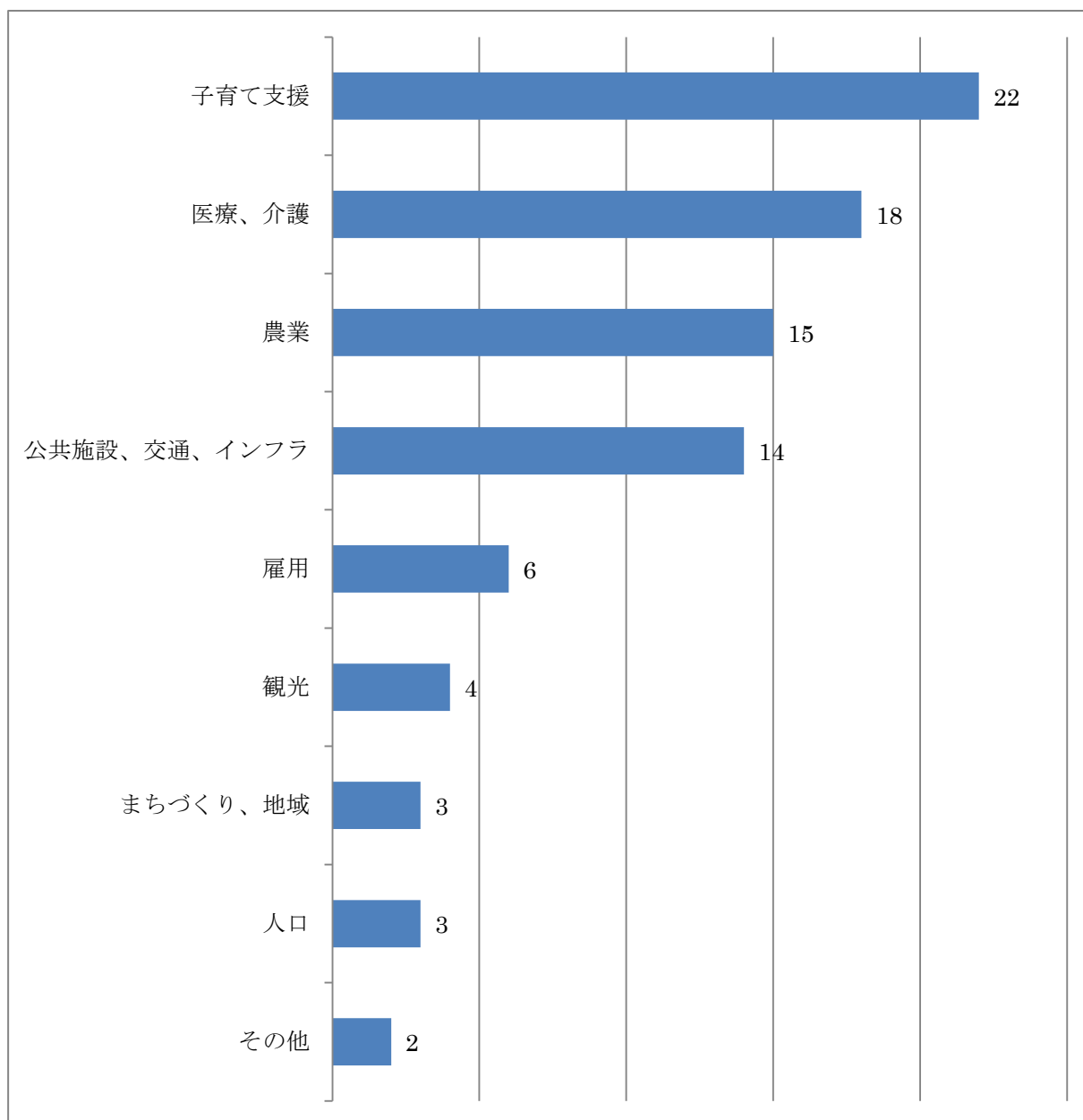


「改善提案シート」記載内容 中間とりまとめ

第3回行方市100人委員会の各分科会において委員が記載した「改善提案シート」の内容を、以下の通り性質ごとに分類した。各分科会での議論は他の分科会のテーマに関わることも多いため、分科会横断的にとりまとめを行った。

○「現状の課題」性質別とりまとめ



委員からの改善提案概要

(1) 子育て支援

課 題		保育園や学童保育などで、遅い時間や病後時、急な時間変更（台風などの緊急時など）のサポートがない
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ママ友同士でお互いにサポートしあえる関係をつくる。 ・ 保育サポーターの制度がきちんと整えば（何かあった際の保険等）、登録して、子育てのサポーターになりたい。 ・ リタイア後に支援でかかわる。 ・ 現在の学童保育や保育園の利用状況を把握する。 ・ ボランティアとして参加できることを伝える。 ・ 地区のセンターで一時預かりを行い、そこで預かる役割を担う。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバー人材センターとして関わる。 ・ 地域で協力し合う。 ・ 保育サポーターの制度を整えた上でサポーターを募る。 ・ 子育てボランティア（約40名）の人たちの活動の場を広げる。 ・ 子ども会の中で非常時体制を決めておき、父兄や祖父母で子供の面倒を見ることが可能な人材を確保しておく。 ・ 平日、空き教室で児童とかかわる。 ・ 地区センターを開放する。 ・ 地区センターでの一時預かりを、まずは月1くらいでやってみる。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファミリーサポートセンター制度を充実させる。 ・ 学童の時間以外に子どもを預かる場所の整備（集落センターの開放）。 ・ 広報に地区センターでの一時預かりの開館日と行事予定、時間を掲載。 ・ 地区センターの管理者（区長？）との連絡連携 ・ 保険などの制度を作って保育サポーターを集める。 ・ 行政と子ども会で連携を取る。

課 題		子育てボランティアが活用されていない
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てボランティアの存在を把握する。 ・ 子育てボランティアに参加する。 ・ 子育てボランティアを活用する。 ・ 自分の仕事が休みの日で予定が立てば協力する。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアとして参加してくれる人に声を掛ける。人材は豊富にいる。 ・ 有職者、退職者がそれぞれ可能な内容のボランティアとして参加する。 ・ 子育て中の悩み相談にのる。 ・ 障害のある子を持つ親への支援をする。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てボランティアの募集、呼びかけ。 ・ ボランティア人材バンクの管理。 ・ ボランティア保険や手当などを整備する。 ・ 行政の内部での連携をしっかりととり、ボランティアとして参加してくれる人たちの情報共有をする。 ・ 子育てコンシェルジュサービスを導入し、子育てボランティアに担ってもらう。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てボランティアは存在しているが、ほとんど仕事がない。 ・ 子育てボランティアがどのような目的で募集されているかわからない。

課 題		子育て支援の担当課間で連携が不足している
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じようなことを違う部署で実施していることを知る。
	地域・民間の取組み	
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別に支援を要する子どもに関する担当課を統一する。 ・ 市の広報紙に各課の仕事内容を掲載する。 ・ 子どもに関する部署の情報共有の場を設ける。

【その他意見】

- 子ども会の活動内容がわかりづらい。
- 児童委員の活動がほとんどない。
- 子育ての相談をできる支援センター、相談窓口がない。
- 子ども達の居場所を増やす。
- シルバーリハビリ体操で、子どもと高齢者のふれあいの場を作る。
- 自信とゆとりをもって子育てに取り組めるよう経済的支援制度を設ける。

(2) 医療、介護

<介護>

課 題		介護をする側への支援が不足している
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護している人が外に出て話す、話をきいてもらう機会をつくる。 ・ リフレッシュすることが重要。 ・ 友人知人として関わる。 ・ 介護している人にコミュニティへの参加を進め、外に出る機会をつくる。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の中で話し合いができる場など、介護している人の心の拠り所となる場所をつくる。 ・ 民生委員にも協力してもらい介護している人と話をする。 ・ 地域包括支援センターを活用する。 ・ 地域の中で話し合いを出来る場を持つ。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センターの人員の充実。 ・ 地域包括支援センターを周知して、誰もが利用できるようにする。 ・ 2000人の要介護者の把握、データの分析。 ・ 健康増進課と介護福祉課の連携。 ・ モデル地区を選定して重点的に取り組む。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体の介護はどこで折り合いをつけるかが問題。

課 題		地域での高齢者の見守りが不十分
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区ごとの見守りの徹底。 ・ 地域の人たちで見守るために、いつも気に掛ける。 ・ 要介護にならない様に食生活健康管理に気をつける。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護予防サポーターを育成する。 ・ 民生委員と一緒に見守りをする。 ・ 地域のイベントやクラブ活動へ参加を呼びかける。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険の状況を市民に分かりやすく広報する(保険料の増額等)。 ・ 看護師の増員。 ・ ヤクルト等の民間事業者に協力を依頼する。 ・ 困っている人の相談にのる。

【その他意見】

- 介護保険料を支払っているから使うのがあたり前という意識が強い。
- 高齢者の社会参加対策が必要。
 - シルバー人材センターでの労働、近所づきあいや友人づきあいなど。
- 災害時等の高齢者の見回り対策の仕組みがあると良い。

<医療>

課 題		なめがた総合病院の拠点化とその周辺整備が必要
改善 提案	個人の実組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティの活動を行う。 ・ 病院に行っている人に周辺施設のニーズを聞く。 ・ 病院の健康教室や音楽会に参加する。
	地域・民間の 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院を憩いの場として活用する。 ・ 病院に子どもの絵を飾る。 ・ 患者以外でも健康教室や音楽会に参加できるよう周知する。 ・ 病院の周辺にみんなで集える楽しい場所をつくる。
	行政の実組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合福祉センターの検討。 ・ 病院へのアクセスを良くする。 ・ 病院の周辺にコンビニを誘致する。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの地区にコミュニティの拠点があるので病院の近くに一つにするのは難しいのではないか。 ・ 病院の待ち時間が長い。

【その他意見】

- 健康寿命が低いので、精度の高い検査があると良い。
- 休日・夜間の診療体制の充実が必要。
- 産婦人科医が少ない。

(3) 産業

課 題		農産物の特産品、ブランド力がない
改善 提案	個人の実組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの農家が個別に研究していく。 ・ マーケティングを考えて特産品を選ぶ。 ・ 行方の特産物を市民総選挙で（AKB総選挙みたいに）投票して選ぶ。作り手の農家がポスターを作りアピールする。難しい議論よりも市民が同じ方向を向ける機会が重要。 ・ 口コミで宣伝する。
	地域・民間の	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の農家で特産品を考え、同意見を持った人たち

	取組み	<p>で協力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特産物の総選挙を皆で話題にする。 ・ 口コミで宣伝する。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行方市の農作物としてどのように特色を出していくのかを考える。 ・ 選挙の仕組みは行政の得意分野なので、特産物の総選挙の機会を作る。 ・ 新種の農作物を開発する。 ・ ブランド力をつけるための国際規格を取るべく調査する。 ・ ブランド化の目的を明確化する。

課 題		農業の担い手、後継者が不足している
改善 提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業が好きな人にむけてアピールし、行方市を意識してもらう。 ・ SNSなどネットで周知することは可能。 ・ 耕作放棄地を貸し出す。 ・ 自分が所有している農地を提供する。 ・ 自分の農地は自分（家族）で何とか処理する。 ・ 転居してくれる人を探す。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家やJAが協力し、Uターン者を探す。 ・ 生産法人やJAが担い手のいない個別農家に生産力を提供する。 ・ 個別農家が不足しても良いように集団化する。 ・ 耕作放棄地を把握し、持ち主に貸し出しの意向を確認する。 ・ 既に他の地域から行方市に来ている人がいるので、そういう人から話を聞く。 ・ 後継者を育成する。 ・ なめがたファーマーズビレッジを活用する。 ・ 女性の農家の定住化を促進する。 ・ 移住者のためのシェアハウスを検討する。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地を持って余している人を集めて、農業をやりたい人、グループと話し合いを行えるプラットフォームを作る。 ・ 耕作放棄している人のリストアップ。 ・ 行方市の魅力をPRし、イメージアップをはかる。 ・ 耕作放棄をしている農家と貸し出しの相談をする。 ・ 行方市に移住する人への税優遇策の検討。 ・ シェアハウスを建て、移住者と耕作放棄者の両方に

		とってWINとなる関係を作る。
--	--	-----------------

課 題		新規営農者に排他的である
改善 提案	個人の取組み	・
	地域・民間の 取組み	・ 地域として新規住民のサポート体制の確立。 ・ 民間（農業生産グループ）への受け入れの要請。
	行政の取組み	・ Iターン者への支援策を考える。 ・ 移住した後に地域との調整を行う。

【その他意見】

- 農作物の品目が多いのはメリットなので、すべての食材を行方市産で作成し、生産者を明記する弁当を作り、付加価値を上げる。
- JAと農家の関係を強化し、お互いWINWINとなるような関係を構築する。
- 個人として農家を応援する。

(4) 公共施設、交通、インフラ

<公共施設>

課 題		集会施設（公民館、地区公民館、集落センター）が活用できていない
改善 提案	個人の取組み	・ 部落のしきたりや生活の為の話し合いを行うための世代ごとの集いの場として活用。
	地域・民間の 取組み	・ 部落であったことや改善点、お互いの家族の状況などを話し合う場として活用する。 ・ 年代は関係なく集まる方法を考える。 ・ 草刈り等施設の維持管理に参加する。
	行政の取組み	・ 玉造公民館の入り口がわかりにくいので標識をつくる。 ・ 公民館でのイベント、趣味の集いを開催する。 ・ 統廃合を進める。

課 題		廃校になった学校施設を活用できていない
改善 提案	個人の取組み	・ 高齢者のスポーツ（グラウンドゴルフ）の場として活用する。
	地域・民間の 取組み	・ 廃校の使い道を考える。 ・ グラウンドゴルフの会員で草刈り、枝払い等の周辺整備を行う。
	行政の取組み	・ 古いカメラセットなど、今役所でまとめなければなくなる歴史的な物品があるので、保存する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に協力してもらい、昔の歴史を学べる子ども達の宿泊学習の実施。 ・ ホームページに掲載し活用方法を募集。 ・ 金融機関と連携し、活用策を考える。 ・ 歩く会や高齢者と子どものふれあいの場など、健康づくりのためのイベントを開催。
--	--	--

<交通>

課題		路線バス交通の便が悪い、バスの乗客者数が少ない
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者を紹介する。 ・ 自ら積極的に乗車する。
	地域・民間の取組み	
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 霞ヶ浦広域バスの土浦～玉造～潮来を運航。潮来市と調整の必要有。 ・ 商業施設の誘致。 ・ 近隣行政との連携。 ・ 知名度の向上施策の検討。 ・ 利用者に対するインセンティブの検討。

【その他意見】

- 総合福祉センターを建設する。
- 道路の状況が悪いので改善が必要。

(5) 雇用

課題		労働者不足、求職と求人がミスマッチしている
改善提案	個人の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんな仕事でもやってみる。 ・ 外国人労働者への差別や偏見をなくす。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入ってきた新人に丁寧に教える。 ・ 外国人労働者への差別や偏見をなくす。 ・ 求職者と仕事のマッチングをする。 ・ 日本語学校を設立する。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求職者に仕事を紹介する。 ・ 外国人に対する政策の緩和。 ・ 入国管理や難民に関する規制の緩和。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしたら人が集まるのかわからない事業者が多いのではないか。 ・ 行政が手助けしにくい。

課 題		子育て中の女性の雇用の場が少ない
改善 提案	個人の取組み	
	地域・民間の 取組み	・ 魅力ある働く場を作る。
	行政の取組み	・ 働きやすい職場づくりの支援、斡旋。
その他		・ 子育てをしながらの労働はハンデがある。

(6) 雇用

課 題		観光資源の見直しが必要
改善 提案	個人の取組み	・ NPO法人を設立して手伝う。
	地域・民間の 取組み	・ 滞在型観光としての農業体験のために、農地の提供、農作業のアドバイス（グリーンツーリズム）。
	行政の取組み	・ 広域的に周辺自治体と組み、観光地を作り上げる。

課 題		なめがたファーマーズビレッジのPR不足
改善 提案	個人の取組み	・ まずは自分で行ってみる。
	地域・民間の 取組み	・ 会社の研修の場として活用する。 ・ 幼稚園の遠足で訪れる。
	行政の取組み	・ 中学生の職場体験として活用する。
その他		・ 作ったからには潰れないように有効活用する。 ・ 市民、民間、行政が一丸となって日本全国での認知度を高める。

課 題		宿泊施設が不足している
改善 提案	個人の取組み	・ 個人が主役となり民泊、民宿を促進する。
	地域・民間の 取組み	・ 今ある施設を使い民泊、民宿の場所を確保する。
	行政の取組み	・ 観光に力を入れても日帰り客しか期待できないので、滞在型に考えを変える。 ・ 特区申請を行い、民泊を簡単にできるようにする。 ・ 農業人口を増やすために短期宿泊を増やす。

(7) まちづくり、地域

課 題		市民主体の地域づくり、まちづくりがまだ不十分
改善 提案	個人の取組み	・ 自治会、町会単位のコミュニティの魅力の再発見を心掛ける。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ みんな声かけあって楽しく遊んだり、世間話をしたりする。 ・ 行方市100人委員会の分科会を中心に NPO 法人を設立する。 ・ 街を良くするには自助努力。
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ単位でのイベントを企画する。 ・ お互いに声を掛け合う。 ・ 市職員は増やせないが、市民が手伝いを少々するだけで街を良くすることができる。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動場の片すみに集えるための机を設置する。 ・ 町会単位、自治会単位の区割りを見直す。

(8) 人口

課 題		人口が減少していく
改善提案	個人の取組み	
	地域・民間の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い人が住みたくなる行方市にする。 ・ 若い人の定住を促進する。 ・ 人口が減少する要因として教育環境が考えられるので、学習塾を開く。
	行政の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働く場所確保のために企業を誘致する。 ・ 会社の中に保育園をつくる。 ・ 土浦、つくば、水戸への通学しやすくなるよう交通整備を行う。

○その他

- 敬老祝い品の見直しが必要。
- 野良犬が放置されているので対策が必要。